

市 と 市民 が協力！



松戸市 国分川の
多自然川づくり

約30年前、官民協働の国分川の治水工事が行われました

高度経済成長による埋め立てで市川市や松戸市で

「国分川分水路」を建設 (by千葉県)
国分川の水を2つに分けて水量減

洪水多発!

船橋と
いっしょ

市と市民がいっしょに川づくり (by松戸市)

「国分川調節池」をつくる (by千葉県)
川の増水を防ぐ

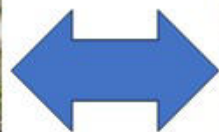
仕上げて国分川を「多自然川づくり」で整備。安全で自然豊かな川に (国分川を一級河川に昇格させてから工事)



多自然川づくりって何？

土手のある幅の広い川にして洪水を防ぐだけでなく、流域の暮らしや文化、生き物にも配慮して川の管理を行うこと。

1997年、国が河川法を改正し「多自然型」と「住民参加」を明記

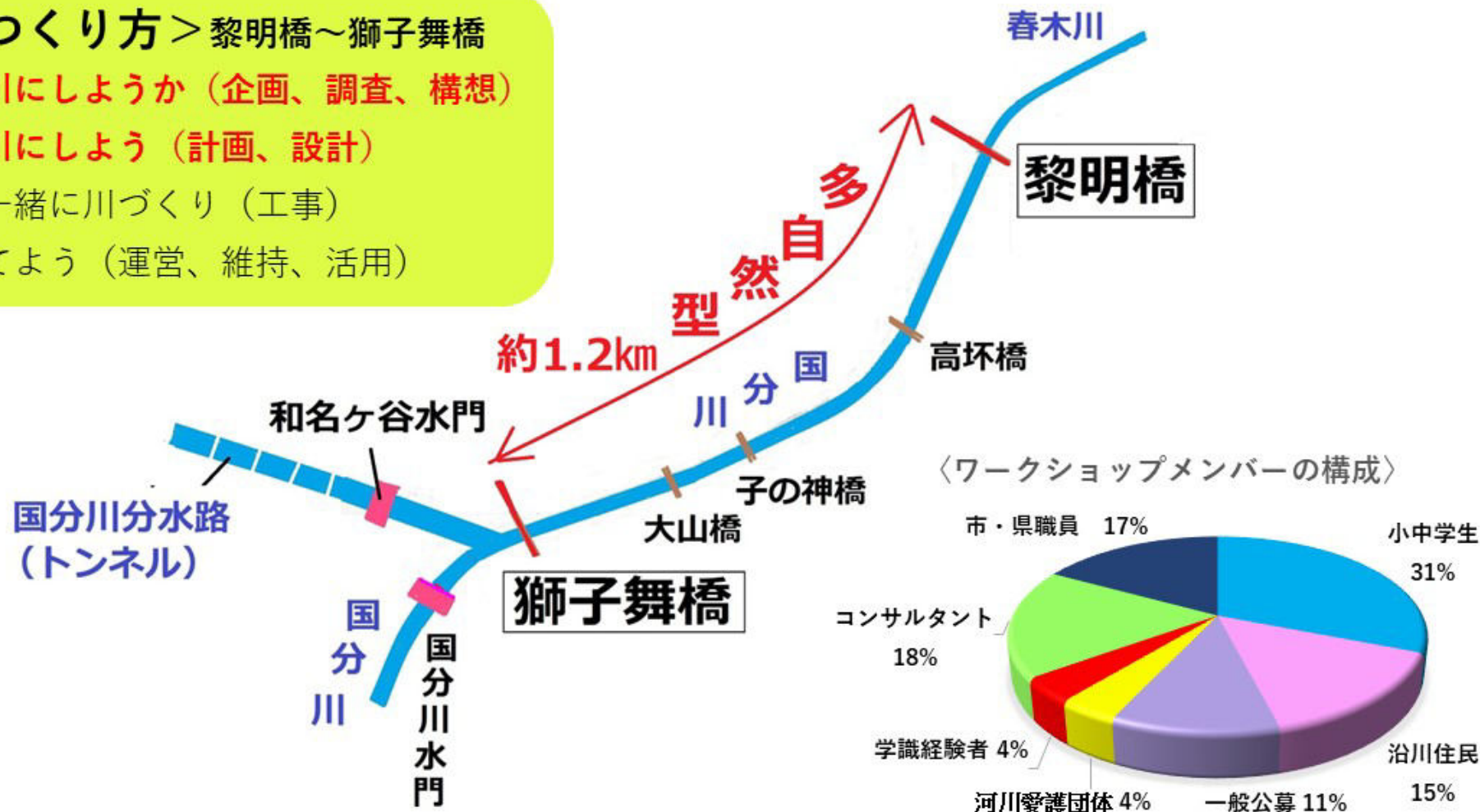


コンクリート護岸
(昔の川の整備方法)
写真は松戸市・春木川。
国分川もこのような川だった

「ワークショップ」を重ねて市と市民が夢の国分川づくり

＜川づくり方＞黎明橋～獅子舞橋

- ①どんな川にしようか（企画、調査、構想）
- ②こんな川にしよう（計画、設計）
- ③自然と一緒に川づくり（工事）
- ④川を育てよう（運営、維持、活用）



官民協働の手段は「ワークショップ」。

ステップを踏んで川づくりを自分事に(よく考えられた内容です)

1. 川を時空で体感しよう(流域を知る)

- 手分けして台地から川に向かって歩いてみよう
- 地元の人から昔の国分川の話进行聞こう

2. 川を実感しよう(国分川の模型をつくる)

- 現場で測って地形模型、河川模型をつくってみよう



3. 川そのものをじっくり見てみよう(工事前の国分川を体感)

- 国分川を200mごとに区切り、グループに分かれて担当の区域をじっくり観察。
川の平面図、断面図をつなぎ合わせてみる
- 流速の測定、水質検査をしてみよう



4. 川づくりのアイデアを表現してみよう

- 6つのグループに分かれ、思い思いにアイデアを大きな紙に書き込んでみよう
- 体育館のマットを使って護岸の傾斜を再現。上ったり下りたり座ったり。いいアイデアが浮かんだかな？

5. 川づくりの大きな絵をかいてみよう

●6グループの案を合わせ、大きな「みらい絵図」を作ろう



**松戸市・河川清流課が
全てのアイデアに返事**

寄せられたすべてのアイデアに、「できる」「できない」「将来できるかも」ということと、その理由をつけて返事を書いた。

6. 出来上がった「みらい絵図」を発表

7. 工事中も、植物を植える中洲をつかった

8. 工事が終わった土手で観察会を実施(全区間が完成したのは13年後＝2006年)

完成した[みらい絵図]。市民の夢がいっぱい

ワークショップ紹介

【河川改修補元】利根川水系 一級河川 園分川（獅子舞橋～紫明橋）

延長：1,164m

幅員：28.4～42.4m（両側にある川の点検するための管理用道路を含む）

降雨強度：50mm/h（1時間あたり50mmの降水量）

超過確率年：1/7.5（1時間に50mm以上の雨が降るのは7年半に1度）

計画流量：70m³/s(1時間あたり50mmの雨が降った時に流れる量)

(ただし紙敷川合流点の上流では $35\text{m}^3/\text{s}$)

流域面積：19.44 km²（この区間の国分川に降り注ぐ雨をもたすエリア）

《国分川のみらい絵図》



みんな
いっしょに
ハッピー!!

